

半閉鎖的な内湾域に広がるアマモ場：アマモの生活史の違いが魚類に与える影響と漁業者  
によるアマモ場再生事業の効果

佐藤允昭（水産研究・教育機構 水産技術研究所）

沿岸の砂泥底に形成されたアマモの群落はアマモ場と呼ばれ、小型の無脊椎動物や魚類の生産の場となっている。アマモには複数年生育する多年生の生活史のものと、春に繁茂し夏に種だけを残し消失する一年生のものが存在する。発表者らは静岡県浜名湖での野外調査により多年生と一年生のアマモ場における魚類相の違いを明らかにした。また、本発表では岡山県日生町の漁業者によるアマモ場再生活動の効果を集団遺伝解析により検証した結果についても報告する。

